令和7年度 水道 第 号		胎内市高野橋水管橋点検業務委託実施設計書		調査	
				設計	
委託日数	210日間	令和 年 月 日 着手	令和 年 月 日 竣工		
施行地名	胎内市 高野 地内				
実施設計額	実施設計		変更設計		
設計額	円 (うち取引にかかる消費税額 円)		円 (うち取引にかかる消費税額 円)		
請負額	円 (うち取引にかかる消費税額 円)		円 (うち取引にかかる消費税額 円)		
設計概要	設計協議 1式 ドローン点検・撮影 1式 報告書作成 1式 電子成果品 1式				

胎 内 市

	実 施 設 計 書	変 更 設 計 書
委託価格計(設計額) (消費税相当額を含まず)	円	
消費税相当額 委託価格に10%を乗じた額	円	
本委託費計	円	
委託価格に対して入札業者が応じた額(落札額) (消費税相当額を含まず)		
消費税相当額 入札業者が応じた額(落札額)に10%を乗じた額		
請負額 (契約額)		
比較増減 (請負額)		
備 考		

胎 内 市

本委託費内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
直接費					
直接人件費					
設計協議	1	式			第1号明細書
報告書作成	1	式			第2号明細書
直接人件費 計					
直接経費					
電子成果品作成費	1	式			
ドローン点検・撮影	1	式			
直接経費 計					
直接原価					

胎 内 市

1

本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
間接原価					
その他原価	1	式			
業務原価					
一般管理費等	1	式			
業務価格 計					
消費税相当額	1	式			
委託費総額					

胎 内 市

第1号明細書

設計協議

水管橋点検

() 円

1業務当り

円

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
初回打合せ	1	回			第1号子明細書
最終打合せ	1	回			第2号子明細書
合計					

胎 内 市

3

第2号明細書

報告書作成

() 円

水管橋点検

1業務当り

円

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
報告書作成	1	式			第3号子明細書
合計					

胎 内 市

4

第1号子明細書

設計協議
初回打合せ

() 円
1業務当り 円

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
主任技師		人			
技師 (A)		人			
合計					

胎 内 市

第2号子明細書

設計協議
最終打合せ

() 円
1業務当り 円

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
主任技師		人			
技師 (A)		人			
合計					

胎 内 市

第3号子明細書

報告書作成
水管橋点検

() 円
1 業務当り 円

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
主任技師		人			
技師 (A)		人			
合計					

胎 内 市

水管橋点検業務 仕様書

1. 名称

胎内市 高野橋水管橋点検業務委託

2. 総則

この仕様書は、胎内市と契約締結にかかる設計書に添付するものであって、業務については、この設計書ならびに特記仕様書に基づいてするものである。

3. 地区名

胎内市 高野 地内

4. 目的

高野橋に添架されている配水管の老朽状況を、ドローンを用いて確認する事を目的とする。

5. 業務について

- (1) 受託者は、事前に図面等で作業箇所の周辺状況を把握し、作業に必要な図面を携帯する。
- (2) 点検作業に当たっては、作業環境の安全確保並びに安全装備を実施し、水道施設に対し損傷を与えないよう十分留意する。
- (3) 受託者は作業に当たり、河川区域や公園等における土地を一時的に使用する場合は、監督職員と協議するとともに、当該管理者の指示に従う。
- (4) 作業に当たり、河川及び河川構造物、道路構造物及びその他工作物を汚損しないよう注意する。
- (5) 点検作業に当たり、河川区域や公園等における土地を一時的に使用する場合は、監督職員と協議するとともに、該当管理者の指示に従う。
- (6) 作業終了後は、速やかに使用機器、仮設物等を撤去し、必要に応じて作業場所の清掃を実施する。
- (7) 受託者は、点検作業中異常を発見し、それが水道施設及び交通、付近住民に危害を及ぼす可能性があるなど、緊急な対応が必要と考えられる場合は、直ちに監督職員に連絡し、その指示を受ける。

6. 水管橋点検

- (1) 点検の目的は、水管橋の健全度を評価するために実施する。
- (2) 点検の内容は、1)漏水、補修の有無、2)管体外面の腐食状況、3)支承、支持金具、落橋防止装置、付属品（空気弁、伸縮管等）の異常、4)下部工の劣化状況（ひび割れ等）を重点的に行う。
- (3) 点検方式は、目視、ドローンにより行う。
- (4) ドローンによる点検は、空撮による間接目視とする。実施前にはドローン飛行に必要な各種申請資料を作成し申請する。

3 点検結果の記録、健全度評価

- (1) 点検結果及び現況の写真は、調査報告書としてまとめる。

7. 提出書類

提出すべき成果品とその部数は以下の通りとする。

・調査報告書	1部
・上記電子データ	1式
・その他監督員が必要と認めたもの	1式

8. その他

- 1) 乙は、作業着手前に業務全般について監督員と十分打合せを行う事。
- 2) 本仕様書に記載のない事項について疑義が生じた場合は、甲と乙の双方が協議のうえ決定するものとする。
- 3) 乙は、監督員と連絡を密にとり、作業の進捗状態などについて逐次報告を行う事。